

Innovative Environmental Technology Symposium 2020

革新的環境技術シンポジウム 2020

～ビヨンド・ゼロに向けたイノベーションの推進～

2020年12月9日 水 13:00～17:25 (受付開始 12:30)

イノホールおよびWEB配信(ハイブリッド開催) **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援(予定)：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

2020年温暖化対策に関する国際枠組み「パリ協定」の本格的運用が開始されました。我が国は、これに先立ち昨年「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を閣議決定し、また今年に入って長期戦略実現のために「革新的環境イノベーション戦略」を策定し、同戦略の推進のためグリーンイノベーション戦略推進会議を立ち上げました。革新的環境イノベーション戦略では「世界のカーボンニュートラル、更には、過去のストックベースでのCO₂削減(ビヨンド・ゼロ)を可能とする革新的技術を2050年までに確立することを目指していく」と記載されており、また「ムーンショット型研究開発事業/2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現」も動き始めました。

当機構は設立以来、このような抜本的なCO₂削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。この戦略の着実な推進に向け、温室効果ガスを大幅削減するためにはイノベーションの創出が不可欠です。本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループ・センターの最新の研究成果をご報告いたします。

プログラム

12:30	受付開始	
13:00 ~ 13:05	開会挨拶	理事長 茅 陽一
13:05 ~ 13:35	招待講演	気候変動問題を巡る情勢について 経済産業省 大臣官房審議官(環境問題担当) 矢作 友良
13:35 ~ 14:05	基調講演	ビヨンド・ゼロを実現するイノベーション 副理事長・研究所長 山地 憲治
14:05 ~ 14:40	講演 1	正味ゼロ排出実現に向けたエネルギーシステムの評価 システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
14:40 ~ 15:10	休憩	
15:10 ~ 15:45	講演 2	排出源に則した CO ₂ 分離回収技術の実用化展開 化学研究グループリーダー 中尾 真一
15:45 ~ 16:20	講演 3	CO ₂ 地中貯留の実用化に向けての安全管理技術開発の取り組み CO ₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
16:20 ~ 16:55	講演 4	サーキュラー・バイオエコノミーの実現を目指した グリーンバイオプロセスの開発 バイオ研究グループリーダー 乾 将行
16:55 ~ 17:20	講演 5	無機膜を用いたビヨンド・ゼロに向けた取組 無機膜研究センター長 中尾 真一
17:20 ~ 17:25	閉会挨拶	専務理事 本庄 孝志

アクセス

イノホール & カンファレンスセンター

- 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4 出口直結
- 東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2 出口 徒歩 5 分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口 徒歩 3 分
- 東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 5 番出口 徒歩 10 分
- JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄 浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩 10 分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7 出口徒歩 3 分

お申し込み

RITE ウェブサイト

<http://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。

申込締切：11 月 16 日（月）

※コロナウイルス感染拡大防止のため会場の定員が少なくっており、会場での聴講希望でお申込みいただいた方全員のお席を確保できない可能性がございます。お席が確保できた方には 11 月下旬に「参加案内」を発信いたします。

